

第19回
屋上・壁面緑化技術コンクール

応募資料作成要領

- ◎ 屋上緑化部門
- ◎ 壁面・特殊緑化部門
- ◎ 特定テーマ部門

◎ 屋上緑化部門

1. 屋上緑化部門に応募される方の作成する応募資料等は、次のとおりです。

- | | | |
|-----------|-----------------------|----------------------------|
| (1) 提出資料① | 応募作品・応募者 (A4版) | 様式-1 (Ms Excel) |
| (2) 提出資料② | 応募作品諸元 (A4版1枚) | 様式-2 (Ms Excel) |
| (3) 提出資料③ | 応募作品示唆資料 (A3版3枚) | 様式-3 (Ms Word又はPowerpoint) |
| (4) 提出資料④ | 緑化施設平面図、断面図 (A3版各1枚) | (PDF) |
| (5) 提出資料⑤ | 様式-1、2、3に使用した写真 | (JPG) |
| (6) 提出資料⑥ | 参考資料 (必要に応じて) | (PDF) |
| (7) 提出資料⑦ | 上記、提出資料①～⑥を保存したCD-ROM | |

※ 提出様式⑦のCD-ROMに保存するデータ形式は、(1)(2)はMs Excelファイル形式、(3)はMs Wordファイル形式又はPowerpointファイル形式、(4)及び(6)はPDFファイル形式、(5)はJPGファイル形式としてください。

※ (1)～(4)は日本語で記載してください。

2. 「提出資料①応募者の連絡先(様式-1)」の記入について

- (1) 応募者欄及び問合せ先窓口欄に必要な事項を記入してください。問合せ窓口となる方には、必要に応じて、応募内容等の問合せをさせて頂く場合がありますのでご承知おきください。
- (2) 連名で応募する場合は、応募者(連名代表者)欄に連名を代表する応募者を記入し、続けてその他の応募者を記入してください。応募者欄が不足した場合は様式をコピーして利用してください。
- (3) 入選した場合は様式-1に記入した応募者が表彰の対象となります。

※ 入選後、応募者を追加することはできませんので、事前に応募者間で調整してください。

- (4) 本コンクールは造園CPDプログラムによる認定を申請中です。造園CPDプログラムへの単位の申請を希望される方は、ご氏名とCPD会員IDをご記入の上、責任者には、ご氏名の前に丸印をつけてください(ただし、申請者は応募者欄に名前がある方に限ります)。

※ 個人情報保護に関する法令、国が定める指針、その他の規範を遵守し、取得した個人情報は法令で定める場合を除き、明示した利用目的の範囲内でのみ使用します。

3. 「提出資料②応募作品諸元(様式-2)」の記入について

(1) 建築物の用途

屋上緑化が設置された建築物の用途を該当する種別から選択して記入してください

(2) 作品名称及び種別

①入選した場合は作品名称が受賞作品名となります。

※ 入選後、作品名称を変更することはできませんので、事前に応募者間で調整した名称を記入してください。

②対象となる建築物の種別として「新築、既存」のいずれかを選択し、記入してください。また、対象となる緑化施設の種別として「新設、増設、改修」のいずれかを選択し、記入してください。

(3) 施設所在地・完成時期

応募作品の所在地、完成時期を記入してください。

※ 応募できる作品は、2019年3月31日までに工事が完了したものとします。

(4) 作品の規模

- ①敷地面積 敷地の水平投影面積。
【建築基準法施行令第2条1】
- ②建築面積 建築物の外壁又はこれに代わる柱の中心線で囲まれた部分の水平投影面積。
【建築基準法施行令第2条2】
- ③緑化施設面積 都市緑地法第34条第2項に規定する緑化施設の面積。緑化施設とは、同項で「植栽、花壇その他の緑化のための施設及び敷地内の保全された樹木並びにこれらに付随して設けられる園路、土留その他の施設（当該建築物の空地、屋上その他の屋外に設けられるものに限る）。」とされている。
【都市緑地法運用指針9(3)】
緑化施設の面積は、都市緑地法施行規則第9条各号に掲げる緑化施設の区分に応じて、それぞれ該当各号に定める方法により算出した面積とする。
【都市緑地法施行規則第25条】
- ④緑被面積 緑化施設面積において、樹木、芝、草花など植物によって覆われた土地の面積。
【環境用語集「緑被率」EICネット】

(5) 緑化施設の整備費・年間維持管理費

おおよその屋上緑化施設の平米当りの整備費、年間維持管理費を記入してください。

(6) 他の受賞歴

応募作品の受賞歴を記入してください。

(7) 他への応募

「屋上・壁面緑化技術コンクール」に応募する作品を、他のコンクール等にも応募している場合、又は応募を予定している場合には、そのコンクール等の名称及び主催者名を記入してください。

(8) 作品の所有者、設計者、施工者、管理者

応募作品の所有者、設計者、施工者、管理者を記入してください。

4. 応募作品審査資料（様式-3及び作成例）

応募作品審査資料は審査の基準となりますので、下記注意事項と応募要綱の「10. 審査のポイント」を参考にわかりやすく記述してください。

(1) 作品の概要

下記に挙げた内容を参考に作品の概要を450字程度でまとめてください。その際、応募者名が入らないようご注意ください。

- ①作品がつくられた経緯と目的
- ②作品が設置された建築物の名称や規模・用途
- ③作品の主な構成要素
- ④作品のコンセプト・特色
- ⑤技術的特徴
(対象技術例：植栽基盤・植物・資材・工法・環境配慮・デザイン・維持管理・運営等の工夫)
- ⑥目的やコンセプトの達成状況

(2) 緑化技術の概要

- ①緑化施設面積 (〇㎡)
- ②設計上の荷重条件と実際の荷重 (実際の荷重は平均値 〇kg/㎡)
- ③屋上緑化が行われている階数 (〇階屋上等)
- ④土壌厚 (最低〇〇～最高〇〇mm あるいは平均値)
- ⑤土壌の種類と名称 (例：人工軽量土・自然土/パーライト・黒土 等)
- ⑥土壌の比重 (湿潤時の比重とする)
- ⑦植栽数量 (高木〇本 中木〇本 低木〇本 地被㎡)

⑧灌水方法（例：自動灌水システム、無灌水 等）

(3) 特徴的な緑化技術

- ①作品に用いられている特徴的な緑化技術 2～3 点を、図表を含めて1,500字程度にまとめてください。
- ②特徴的な緑化技術は下記事例を参考に選択してください。
 - ・ 植栽基盤（防水・防根・土壌等）の工夫や特色
 - ・ 植物選定の工夫や特色
 - ・ 資材・工法の工夫や特色
 - ・ 美観・デザイン・都市景観形成上の工夫や特色
 - ・ 自然環境や利用者への配慮
 - ・ 維持管理技術の工夫や特色
 - ・ 運営上の工夫や特色

(4) 写真

- ①写真は6枚とし、様式-3の3ページの書式に貼り付けて提出してください。
- ②緑化施設全体及び、緑化の現況が分かるもの、樹木や地被植物で緑化された状況及び緑化の特色、緑化の技術や工夫などが分かるものを撮影し、その説明及び撮影年月日等を記入してください。なお、写真の撮影日は応募日から直近1年以内のものとしませんが、施工状況の写真はこの限りではありません。
- ③使用した写真は様式に貼り付けたものをJEPGファイル形式として、別途提出してください（提出資料⑤）。

5. 緑化施設平面図

(1) 緑化施設平面図および断面図

- 応募作品の全体がわかり、着色された平面図（応募作品の区域を一点破線などで明示し、方位や縮尺・棒尺が記入されたもの）A3版1枚と、応募作品の植栽基盤の構造がわかり、着色された断面図（平面図のどこで切断したのかわかるように、平面図には「切断線」を示すこと）A3版1枚。各2枚以上提出された場合は、事務局にて応募作品が最も端的に示された図面、各1枚を選び、使用します。

6. 参考資料

必要に応じて、施設・材料・工法に係わる技術、性能、効果等の具体的データを示したパンフレットや掲載記事等、提出資料③以外の写真（できる限り、撮影年月を明示すること）を提出することができます。

◎ 壁面・特殊緑化部門

1. 壁面・特殊緑化部門に応募される方の作成する応募用紙等は、次のとおりです。

- | | | |
|-----------|-----------------------------|----------------------------|
| (1) 提出資料① | 応募作品・応募者 (A4版) | 様式-1 (Ms Excel) |
| (2) 提出資料② | 応募作品諸元 (A4版1枚) | 様式-2 (Ms Excel) |
| (3) 提出資料③ | 応募作品示唆資料 (A3版3枚) | 様式-3 (Ms Word又はPowerpoint) |
| (4) 提出資料④ | 緑化施設平面図もしくは立面図、断面図 (A3版各1枚) | (PDF) |
| (5) 提出資料⑤ | 様式-1、2、3に使用した写真 | (JPG) |
| (6) 提出資料⑥ | 参考資料 (必要に応じて) | (PDF) |
| (7) 提出資料⑦ | 上記、提出資料①～⑥を保存したCD-ROM | |

※ 提出様式⑦のCD-ROMに保存するデータ形式は、(1)(2)はMs Excelファイル形式、(3)はMs Wordファイル形式又はPowerpointファイル形式、(4)及び(6)はPDFファイル形式、(5)はJPGファイル形式としてください。

※ (1)～(4)は日本語で記載してください。

2. 「提出資料①応募者の連絡先(様式-1)」の記入について

- (1) 応募者欄及び問合せ先窓口欄に必要な事項を記入してください。問合せ窓口となる方には、必要に応じて、応募内容等の問合せをさせて頂く場合がありますのでご承知おきください。
- (2) 連名で応募する場合は、応募者(連名代表者)欄に連名を代表する応募者を記入し、続けてその他の応募者を記入してください。応募者欄が不足した場合は様式をコピーして利用してください。
- (3) 入選した場合は様式-1に記入した応募者が表彰の対象になります。

※ 入選後、応募者を追加することはできませんので、事前に応募者間で調整してください。

- (4) 本コンクールは造園CPDプログラムによる認定を申請中です。造園CPDプログラムへの単位の申請を希望される方は、ご氏名とCPD会員IDをご記入の上、責任者には○をつけてください(ただし、申請者は応募者欄に名前がある方に限ります)。

※ 個人情報保護に関する法令、国が定める指針、その他の規範を遵守し、取得した個人情報は法令で定める場合を除き、明示した利用目的の範囲内でのみ使用します。

3. 「提出資料②応募作品諸元(様式-2)」の記入について

(1) 建築物の用途

壁面・特殊緑化が設置された建築物の用途を該当する種別から選択して記載してください。

(2) 作品名称及び種別

- ①入選した場合は作品名称が受賞作品名となります。

※ 入選後、作品名称を変更することはできませんので、事前に応募者間で調整した名称を記入してください。

- ②対象となる建築物等の種別として「新築、既存」のいずれかを選択し、記入してください。また、対象となる緑化施設の種別として「新設、増設、改修」のいずれかを選択し、記入してください。

(3) 施設所在地・完成時期

応募作品の所在地、完成時期を記入してください。

※ 応募できる作品は、2019年3月31日までに工事が完了したものとします。

(4) 作品の規模

①敷地面積 敷地の水平投影面積。

【建築基準法施行令第2条1】

②緑化施設面積 都市緑地法第34条第2項に規定する緑化施設の面積。緑化施設とは、同項で「植栽、花壇その他の緑化のための施設及び敷地内の保全された樹木並びにこれらに付随して設けられる園路、土留その他の施設（当該建築物の空地、屋上その他の屋外に設けられるものに限る）。」とされている。

【都市緑地法運用指針9(3)】

緑化施設の面積は、都市緑地法施行規則第9条各号に掲げる緑化施設の区分に応じて、それぞれ該当各号に定める方法により算出した面積とする。

【都市緑地法施行規則第25条】

③緑被面積 緑化施設面積において、樹木、芝、草花など植物によって覆われた土地の面積。

【環境用語集「緑被率」EICネット】

(5) 緑化施設の整備費・年間維持管理費

おおよその壁面・特殊緑化施設の平米当りの整備費、年間維持管理費を記入してください。

(6) 他の受賞歴

応募作品の受賞歴を記入してください。

(7) 他への応募

「屋上・壁面緑化技術コンクール」に応募する作品を、他のコンクール等にも応募している場合、又は応募を予定している場合には、そのコンクール等の名称及び主催者名を記入してください。

(8) 作品の所有者、設計者、施工者、管理者

応募作品の所有者、設計者、施工者、管理者を記入してください。

4. 応募作品審査資料（様式-3及び作成例）

応募作品審査資料は審査の基準となりますので、下記注意事項と応募要項の「10. 審査のポイント」を参考にわかりやすく記述してください

(1) 作品の概要

下記に挙げた内容を参考に作品の概要を450字程度でまとめてください。その際、応募者名が入らないようご注意ください。

①作品がつくられた経緯と目的

②作品が設置された建築物等の名称や規模・用途

③作品の主な構成要素

④作品のコンセプト・特色

⑤技術的特徴

（対象技術例：植栽基盤・植物・資材・工法・環境配慮・デザイン・維持管理・運営等の工夫）

⑥目的やコンセプトの達成状況

(2) 緑化技術の概要

①緑化施設面積（〇㎡）

②設計上の荷重条件と実際の荷重（実際の荷重は平均値 〇kg/㎡）

・ 壁体に懸架している壁面緑化の場合は、壁体懸架許容荷重（不明な場合は空欄）と実際の平均荷重

・ 人工地盤やベランダ等の緑化の場合は許容荷重と実際の平均荷重

③土壌厚又は植栽基盤厚（最低〇〇～最高〇〇mm あるいは平均値）

④土壌又は植栽基盤の種類と名称（例：人工軽量土・自然土／パーライト・黒土 等）

⑤土壌又は植栽基盤の比重（湿潤時の比重とする）

⑥植栽数量（高木〇本 中木〇本 低木〇本 地被㎡）

⑦灌水方法（例：自動灌水システム、無灌水 等）

(3) 特徴的な緑化技術

- ①作品に用いられている特徴的な緑化技術2～3点を、図表を含めて1,500字程度にまとめてください。
- ②特徴的な緑化技術は下記事例を参考に選択してください。
 - ・ 植栽基盤（防水・防根・土壌等）の工夫や特色
 - ・ 植物選定の工夫や特色
 - ・ 資材・工法の工夫や特色
 - ・ 美観・デザイン・都市景観形成上の工夫や特色
 - ・ 自然環境や利用者への配慮
 - ・ 維持管理技術の工夫や特色
 - ・ 運営上の工夫や特色

(4) 写真

- ①写真は6枚とし、様式-3の3ページの書式に貼り付けて提出してください。
- ②緑化施設全体及び現況が分かるもの、樹木や地被植物で緑化された状況及び緑化の特色、緑化の技術や工夫などが分かるものを撮影し、その説明及び撮影年月日等を記入してください。
なお、写真の撮影日は応募日から直近1年以内のものとしませんが、施工状況の写真はこの限りではありません。
- ③使用した写真は様式に貼り付けたものをJEPGファイル形式として、別途提出してください（提出資料⑤）。

5. 緑化施設平面図もしくは立面図、断面図

(1) 緑化施設平面図もしくは立面図、断面図

- 応募作品の全体がわかり、着色された平面図もしくは立面図（応募作品の区域を一点破線などで明示し、方位や縮尺・棒尺が記入されたもの）A3版1枚と、応募作品の植栽基盤の構造がわかり、着色された断面図（平面図もしくは立面図のどこで切断したのかわかるように、平面図もしくは立面図には「切断線」を示すこと）A3版1枚。各2枚以上提出された場合は、事務局にて応募作品が最も端的に示された図面、各1枚を選び、使用します。

6. 参考資料

必要に応じて、施設・材料・工法に係わる技術、性能、効果等の具体的データを示したパンフレットや掲載記事等、提出資料③以外の写真（できる限り、撮影年月を明示すること）を提出することができます。

◎ 特定テーマ部門「小規模空間の緑化」

1. 特定テーマ部門に応募される方の作成する応募資料等は、次のとおりです。

- | | | |
|-----------|-----------------------------|----------------------------|
| (1) 提出資料① | 応募作品・応募者 (A4版) | 様式-1 (Ms Excel) |
| (2) 提出資料② | 応募作品諸元 (A4版1枚) | 様式-2 (Ms Excel) |
| (3) 提出資料③ | 応募作品示唆資料 (A3版2枚) | 様式-3 (Ms Word又はPowerpoint) |
| (4) 提出資料④ | 緑化施設平面図もしくは立面図、断面図 (A3版各1枚) | (PDF) |
| (5) 提出資料⑤ | 様式-1、2、3に使用した写真 | (JPG) |
| (6) 提出資料⑥ | 参考資料 (必要に応じて) | (PDF) |
| (7) 提出資料⑦ | 上記、提出資料①～⑥を保存したCD-ROM | |

※ 提出様式⑦のCD-ROMに保存するデータ形式は、(1)(2)はMs Excelファイル形式、(3)はMs Wordファイル形式又はPowerpointファイル形式、(4)及び(6)はPDFファイル形式、(5)はJPGファイル形式としてください。

※ 特定テーマ部門に応募する作品が「屋上緑化」に該当する場合、提出資料①、②、③の記入は、「屋上緑化部門」を参考にしてください。

※ 特定テーマ部門に応募する作品が「壁面・特殊緑化」に該当する場合、提出書類①、②、③の記入は、「壁面・特殊緑化部門」を参考にしてください。

2. 「提出資料①応募者の連絡先(様式-1)」の記入について

- (1) 応募者欄及び問合せ先窓口欄に必要な事項を記入してください。問合せ窓口となる方には、必要に応じて、応募内容等の問合せをさせて頂く場合がありますのでご承知おきください。
- (2) 連名で応募する場合は、応募者(連名代表者)欄に連名を代表する応募者を記入し、続けてその他の応募者を記入してください。応募者欄が不足した場合は様式をコピーして利用してください。
- (3) 入選した場合は様式-1に記入した応募者が表彰の対象となります。

※ 入選後、応募者を追加することはできませんので、事前に応募者間で調整してください。

- (4) 本コンクールは造園CPDプログラムによる認定を申請中です。造園CPDプログラムへの単位の申請を希望される方は、ご氏名とCPD会員IDをご記入の上、責任者には○をつけてください(ただし、申請者は応募者欄に名前がある方に限ります)。

※ 個人情報保護に関する法令、国が定める指針、その他の規範を遵守し、取得した個人情報は法令で定める場合を除き、明示した利用目的の範囲内でのみ使用します。

3. 「提出資料②応募作品諸元(様式-2)」の記入について

(1) 建築物の用途

応募作品が設置された建築物が該当する種別を選択して記入してください。

(2) 作品名称及び種別

- ①入選した場合は作品名称が受賞作品名となります。

※ 入選後、作品名称を変更することはできませんので、事前に応募者間で調整した名称を記入してください。

- ②対象となる建築物の種別として「新築、既存」のいずれかを選択し、記入してください。また、対象となる緑化施設の種別として「新設、増設、改修」のいずれかを選択し、記入してく

ださい。

(3) 施設所在地・完成時期

応募作品の所在地、完成時期を記入してください。

※ 応募できる作品は、2019年3月31日までに工事が完了したものとします。

(4) 作品の規模

- ①敷地面積 敷地の水平投影面積。
【建築基準法施行令第2条1】
- ②建築面積 建築物の外壁又はこれに代わる柱の中心線で囲まれた部分の水平投影面積。
(屋上緑化のみ) 【建築基準法施行令第2条2】
- ③緑化施設面積 都市緑地法第34条第2項に規定する緑化施設の面積。緑化施設とは、同項で「植栽、花壇その他の緑化のための施設及び敷地内の保全された樹木並びにこれらに付属して設けられる園路、土留その他の施設（当該建築物の空地、屋上その他の屋外に設けられるものに限る）。」とされている。
【都市緑地法運用指針9(3)】
緑化施設の面積は、都市緑地法施行規則第9条各号に掲げる緑化施設の区分に応じて、それぞれ該当各号に定める方法により算出した面積とする。
【都市緑地法施行規則第25条】
- ④緑被面積 緑化施設面積において、樹木、芝、草花など植物によって覆われた土地の面積。
【環境用語集「緑被率」EICネット】

(5) 緑化施設の整備費・年間維持管理費

おおよその屋上緑化、壁面・特殊緑化施設の平米当りの整備費、年間維持管理費を記入してください。

(6) 他の受賞歴

応募作品の受賞歴を記入してください。

(7) 他への応募

「屋上・壁面緑化技術コンクール」に応募する作品を、他のコンクール等にも応募している場合、又は応募を予定している場合には、そのコンクール等の名称及び主催者名を記入してください。

(8) 作品の所有者、設計者、施工者、管理者

応募作品の所有者、設計者、施工者、管理者を記入してください。

4. 応募作品審査資料（様式-3及び作成例）

応募作品審査資料は審査の基準となりますので、下記注意事項と応募要綱の「10. 審査のポイント」を参考にわかりやすく記述してください。

(1) 作品の概要

下記に挙げた内容を参考に、「特定テーマ部門」であることを強く意識して、作品の概要を450字程度でまとめてください。その際、応募者名が入らないようご注意ください。

- ①作品がつくられた経緯と目的
- ②作品が設置された建築物の名称や規模・用途
- ③作品の主な構成要素
- ④作品のコンセプト・特色
- ⑤技術的特徴
(対象技術例：植栽基盤・植物・資材・工法・環境配慮・デザイン・維持管理・運営等の工夫)
- ⑥目的やコンセプトの達成状況

(2) 緑化技術の概要

- ①緑化施設面積（〇㎡）
- ②設計上の荷重条件と実際の荷重（実際の荷重は平均値 〇kg/㎡）
応募作品が、壁面・特殊緑化の場合は、以下の2つの項目に留意すること。
 - ・ 壁体に懸架している壁面緑化の場合は、壁体懸架許容荷重（不明な場合は空間）と実施の平均荷重
 - ・ 人工地盤やベランダ等の緑化の場合は、許容荷重と実際の平均荷重
- ③屋上緑化が行われている階数（〇階屋上等）※ 屋上緑化のみ
- ④土壌厚又は植栽基盤厚（最低〇〇～最高〇〇mm あるいは平均値）
- ⑤土壌又は植栽基盤の種類と名称（例：人工軽量土・自然土／パーライト・黒土 等）
- ⑥土壌又は植栽基盤の比重（湿潤時の比重とする）
- ⑦植栽数量（高木〇本 中木〇本 低木〇本 地被㎡）
- ⑧灌水方法（例：自動灌水システム、無灌水 等）

(3) 特徴的な緑化技術

- ①「特定テーマ部門」であることを強く意識して、作品に用いられている特徴的な緑化技術1点について、図表を含めて1,500字程度にまとめてください。
- ※ 効果的に緑化するための考え方やコンセプト、緑化技術やその特色、施工後の維持管理や運営などがどのように取り組まれているか。
- ※ 今後の小規模空間における緑化の設計デザイン、施工、維持管理に対して新しい示唆を与えられることができるか。
- ※ 決め細やかな維持管理に取り組み、厳しい環境下でも緑を維持し続けているかどうか。
- ②特徴的な緑化技術は下記事例を参考に選択してください。
 - ・ 植栽基盤（防水・防根・土壌等）の工夫や特色
 - ・ 植物選定の工夫や特色
 - ・ 資材・工法の工夫や特色
 - ・ 美観・デザイン・都市景観形成上の工夫や特色
 - ・ 自然環境や利用者への配慮
 - ・ 維持管理技術の工夫や特色
 - ・ 運営上の工夫や特色

(4) 写真

- ①写真は3枚とし、様式-3の2ページの書式に貼り付けて提出してください。
- ②緑化施設全体及び、緑化の現況が分かるもの、樹木や地被植物で緑化された状況及び緑化の特色、緑化の技術や工夫などが分かるものを撮影し、その説明及び撮影年月日等を記入してください。なお、写真の撮影日は応募日から直近1年以内のものとしませんが、施工状況の写真はこの限りではありません。
- ③使用した写真は様式に貼り付けたものをJPEGファイル形式として、別途提出してください（提出資料⑤）。

5. 緑化施設平面図もしくは立面図

(1) 緑化施設平面図もしくは立面図、断面図

- 応募作品の全体がわかり、着色された平面図もしくは立面図（応募作品の区域を一点破線などで明示し、方位や縮尺・棒尺が記入されたもの）A3版1枚と、応募作品の植栽基盤の構造がわかり、着色された断面図（平面図もしくは立面図のどこで切断したのかわかるように、平面図もしくは立面図には「切断線」を示すこと）A3版1枚。各2枚以上提出された場合は、事務局にて応募作品が最も端的に示された図面、各1枚を選び、使用します。

6. 参考資料

必要に応じて、施設・材料・工法に係わる技術、性能、効果等の具体的データを示したパンフレットや掲載記事等、提出資料③以外の写真（できる限り、撮影年月を明示すること）を提出することができます。